令和元年度事業報告書

〔事業概要〕

人生100年時代を迎え、シニア世代の生き方や価値観が変化しており、高齢化社会の進行や人口減少化の中、シニア自らが地域の一員として、地域社会を支えていくことが求められています。

当センターは、設置目的である「豊かで活力ある長寿社会の実現」に向け、関係機関・団体と連携を図りながら、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進するための事業を実施しました。また、県の総合５か年計画「しあわせ信州創造プラン 2.0」で目指す「人生二毛作社会」実現の施策とも協調し、「誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現」を目指した取り組みを推進しました。

意識づくりの事業では、情報誌「信州りらく」を発行し、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信するとともに、「人生二毛作実践事例集」改訂版を発行しシニアの活動を広く周知しました、また、中高年者の社会参加活動を推進するため、公益性や継続性が高い事業に助成しました。さらに、市町村、市町村社協、シルバー人材センター等の関係団体が参集し情報交換等を行う「ネットワーク会議」を開催し、高齢者の社会参加活動を促す取組を推進しました。

人づくりの事業では、長野県シニア大学を運営し、高齢者の仲間づくりと知識・教養を高めながら、地域と積極的に関わる人材を育成することを目指した大学運営を行いました。

仲間づくり・健康づくりの事業では、高齢者の文化・芸術の祭典「信州ねんりんピック」を開催し、県内各地から延べ1,700人の皆様に参加をいただきました。また、全国健康福祉祭和歌山大会へ長野県選手団を派遣し、全国の方々とのふれあいと交流を深めるなど、生きがいと健康づくりを推進しました。さらに、賛助会と連携し、個人及び法人会員の加入促進に向けた取組を行うとともに、賛助会員の多様なグループ活動に助成し社会参加活動を支援しました。

コーディネートの仕組みづくり事業では、「シニア活動推進コーディネーター」により、シニアの社会参加を推進している関係機関の情報収集・提供により、シニア世代とシニアの活動を求めている団体などとのマッチングを行い、シニアの社会参加を支援しました。また、令和元年10月に発生した台風19号被害の際には、災害ボランティアセンターの運営に携わるなど地域の課題に取り組みました。

１　意識づくり

(1) 情報提供事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動等に関する情報を発信し、活力ある長寿社会づくりの大切さを呼び掛けました。

① 情報誌発行事業

高齢者に関係の深い文化や社会参加活動等に関する情報を発信し、生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図ってきました。

また、市町村・市町村社協・図書館・公民館等に配付し、センター事業のＰＲとともに社会参加活動の啓発、賛助会員制度の周知等を行うとともに、情報誌企画・編集委員会を開催し、情報誌のリニューアル等の検討を行いました。

ア 誌　名　　「信州りらく」
イ 発行回数　年 4回（4 月、7 月、10 月、 1 月）
ウ 発行部数　5,300 部／回
エ 配布先　　賛助会員、市町村、図書館、公民館、公的病院 等
オ 支部通信員の設置　センター各支部に配置した活動サポーター（賛助会員）から、地域の身近な情報を提供していただき、情報誌に掲載しました。･

② 広報事業

報道機関への情報提供を行う等、センターの実施事業や高齢者の社会参加の啓発を推進しました。

(2) 啓発普及事業

高齢者の生きがいと健康づくりに対する県民各層の意識の高揚を図るため、広報啓発活動を実施しました。

① 広報啓発事業

センターの役割や事業体系･内容等を紹介したパンフレットを配布することによりセンターの事業を広く県民等に周知するとともに、「人生二毛作実践事例集（改訂版）」や「人生ニモウサク劇場ウェブ版」を通じて、シニアの活動事例を広く県民に紹介しました。

② ホームページ運営事業

ホームページをリニューアルし、センターの事業、募集案内、イベント、支部・地区賛助会の活動状況等に関する情報をタイムリーに掲載するとともに、センター事業や「人生二毛作社会」の取組み等について情報発信を行いました。

③ 表彰事業

高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加活動に特に功績のあった賛助会員の個人、グループを信州ねんりんピック式典の席上で表彰し、社会参加活動の一層の推進を図りました。

(3) 活動推進事業

高齢者等による社会参加活動を推進するため、活動経費の助成等を行いました。

① センター支部活動事業

支部ごとに、講演会、多世代交流事業など 14 事業「一般事業」を実施するとともに、

人生二毛作推進事業として、高齢者の社会参加をテーマに県民参加の「タウンミーティング」を各支部で開催（新型コロナウイルス感染防止のため中止した１支部を除く）しました。

▸ タウンミーティング参加者　1,041 人

② いきいき中高年社会貢献活動支援事業

中高年者が地域社会への関わりを深めるきっかけづくりとするため、地域社会へ貢献しようとする 概ね 50 歳以上の中高年者を中心に結成されたグループを対象に、その活動経費を助成しました。

▸ 助成額　9 グループ　 939,662 円

③ 高齢者地域活動会議運営事業

人生二毛作社会を推進させるため、市町村、市町村社協、シルバー人材センター等の関係機関が参加し、シニア活動推進コーディネーター等との連携を図りながら、各支部で「ネットワーク会議」を開催（新型コロナウイルス感染防止等のため中止した３支部を除く）しました。

２　人づくり

人材育成事業

長野県シニア大学運営事業

社会参加意欲の醸成とその実践力を高めるとともに、高齢者の生きがいと健康づくりを推進しました。

(1) 一般コース

仲間づくりや教養を高めながら、高齢者の社会参加活動のきっかけをつかみ、地域社会の一員としての自覚をもって地域と関わる人材を養成するため、10 学部において開設しました。(2 年制)

▸ 実施内容　授業時間等　年 60 時間(4 時間×15 日)
（1 学年　教養講座 24 時間、実技講座 20 時間、社会活動講座 16 時間）
（2 学年　教養講座 16 時間、実技講座 20 時間、社会活動講座 24 時間）

▸ 授 業 料　1 人年額　10,000 円

▸ 定　　員　2,400 人（1 学年 1,200 人、2 学年 1,200 人）
1 学年入学者 683 人、2 学年進級者数 617 人

▸ 卒業者数　609 人

(2) 専門コース（地域プロデュース専門コース）

様々な地域課題に向き合って解決するスキルを持ったリーダーやリーダーとともに活動できるプロデューサー的な人材を養成するため、専門コースを長野学部に開設しました。（1 年制）

▸ 実施内容　学習テーマ
・コミュニティデザイン（地域創造）
・ビジネスデザイン（社会的起業）
授業時間等　年 35 時間(12 日)

▸ 授業料　　1 人年間　26,000 円

▸ 入学者数　16 人（募集定員　30 人）

▸ 修了者数　14 人

▸ シニア地域プロデューサー

専門コース修了生は、「シニア地域プロデューサー」としてセンターに登録し、センターと連携を図り、各地域で活動を行いました。

(3) シニア大学の取り組みに等に関する研究会

シニア大学学生確保に向けての広報、情報発信やシニア大学の授業料等について、社会活動推進員による研究会を開催しました。

▸ 開催日　第 1 回　令和元年 7 月 1 日（月）、第 2 回　令和元年 7 月 22 日（月）
第 3 回　令和元年 10 月 3 日（木）

(4) シニア大学運営委員会の開催

シニア大学の運営状況について分析し、授業料や学生定員の見直しについて検討を行いました。

▸ 開催日　令和元 10 月 24 日（木）

3　仲間づくり・健康づくり

(1) 推進事業

高齢者による文化・芸術活動やスポーツ活動などに関する多彩なイベントを開催し、生きがいと健康づくりを推進するため諸事業を実施しました。

① 信州ねんりんピック開催事業

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがいと健康づくり及び社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術祭を、県及び各種団体等との共催により開催し、延べ 1,700 人の皆様に参加をいただきました。

ア 文化・芸術交流大会

(ｱ) 式典、交流プログラム、ステージ発表、トークセッション等

▸ 期　日　令和元年 9 月 21 日（土）

▸ 場　所　飯山市文化交流館「なちゅら」

▸ 内　容

〈式典〉

・社会福祉表彰（知事表彰）　：個人　3 人、1 団体

・長野県長寿社会開発センター理事長表彰　：個人　11 人、5 団体

〈交流プログラム〉

・基調講演（小林節子さん）、地元シニアによるトークセッション

・展示、販売、体験コーナー　ほか

〈ステージ発表〉

・北信地域で活動するグループの演奏、歌、おどりの発表

［来場者　約 800 人］

（ｲ）高齢者作品展

- 期　日　令和元年 9 月 20 日（金）～9 月 22 日（日）
- 場　所　飯山市公民館
- 内　容　日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の出品（249 点）

［来場者 3 日間計　約 800 人］

（ｳ）囲碁・将棋大会

- 期　日　令和元年 9 月 21 日（土）
- 場　所　飯山市公民館　［参加者　約 100 人］

イ スポーツ交流大会

※ 令和元年 10 月 26 日（土）に長野運動公園総合運動場を会場に、10 競技種目の開催を予定したが、台風 19 号による影響のため中止

※ 競技種目

ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ソフトテニス、ソフトバレーボール、ペタンク、ウォークラリー、弓道、テニス、マレットゴルフ（10 種目）

② 全国健康福祉祭選手派遣事業

「あふれる情熱　はじける笑顔」をテーマとした第 32 回全国健康福祉祭和歌山大会「ねんりんピック紀の国わかやま 2019」へ選手を派遣し、全国の高齢者とのふれあいと交流を図りました。

ア 期　日　令和元年 11 月 9 日（土）～12 日（火）　4 日間

イ 場　所　和歌山県和歌山市ほか

ウ 参加種目

〈スポーツ交流大会〉　15 種目

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、サッカー、ソフトバレーボール、太極拳、ウォークラリー、ダンススポーツ

〈文化交流大会〉　3 種目

囲碁、将棋、健康マージャン

〈美術展〉

日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真

エ 本県の選手団　選手・役員総勢 143 人

オ 主な成績

団体：ペタンク（第 3 位）、ソフトバレーボール（ブロック準優勝）

個人：ダンススポーツ（ワルツ第 3 位）、将棋（ブロック準優勝）

(2) 活動推進事業

地区賛助会活動への助言・支援、グループ活動への助成、加入促進キャンペーンの実施等により、会員への活動支援と入会促進を推進しました。

① 賛助会員募集・活動推進事業

地区賛助会とも連携し会員募集活動を推進しました。また、賛助会員の特典となる、料金の割引サービスを提供する「割引協力店名簿」を作成し配布しました。

ア 活動サポーター研修会

令和 2 年 2 月 26 日にシニア地域プロデューサースキルアップ研修と合同で開催を計画しましたが、新型コロナウィルス感染防止のため中止としました。

イ 賛助会員等の状況（令和 2 年 3 月 31 日現在）

- 個人会員　2,422 人　　法人会員　70 団体
- 活動グループ数　155 グループ（会員 1,836 人）
- 割引協力店　253 施設

② 地区賛助会運営費交付事業

地区賛助会が行う活動発表会の開催、会報の発行、会員の加入促進など、運営に係る経費を交付しました。

- 交付額　1,860,000 円

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業

賛助会員代表（20 人）と支部事務局長（10 人）から構成する連絡協議会を開催し、地区賛助会活動の推進、センター事業等のあり方、社会参加活動等について意見交換するとともに、地区賛助会活動の連絡調整を図りました。

- 連絡協議会　2 回開催

④ 賛助会員グループ活動支援事業

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部を助成しました。

- 助成額　167 グループ　2,192,020 円

⑤ 賛助会員グループ立上げ給付金事業

賛助会員が新規のグループを設立する際に給付金を給付し、高齢者の自主的な社会参加活動を推進しました。

- 給付額　14 グループ　140,000 円

４　コーディネートの仕組みづくり

活動推進事業

(1) 高齢者社会参加促進事業

高齢者の社会参加ニーズと地域社会の高齢者に対するニーズ情報を一元的に提供する「シニア活動推進コーディネーター」を配置し、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係機関と連携体制（プラットホーム）を構築し、情報共有を図ることを通じて、高齢者と地域社会のニーズのマッチングを行い、高齢者の多様な社会参加を支援しました。

また、令和元年 10 月の台風 19 号被害の折には、10 月から 12 月にかけて延べ 73 人日、コーディネーターが長野市内の災害ボランティアセンターの運営に関わるなど、災害支援

にも携わりました。

- ▸ コーディネーターの配置　　本部 1 名・各支部 1 名（合計 11 名）
- ▸ コーディネーター相談件数　　延べ 5,250 件

5　センターの運営

センターの運営について審議するため理事会、評議員会を開催したほか、事業の円滑な推進を図るため支部事務局次長等会議等を開催しました。

(1) 理事会

① 第 18 回理事会　令和元年 5 月 27 日（月）
- ▸ 平成 30 年度事業報告、財務諸表等について決議

③ 第 19 回理事会　令和 2 年 3 月 3 日（火）
- ▸ 令和 2 年度事業計画、収支予算等について決議

(2) 評議員会

① 第 17 回評議員会　令和元年 6 月 14 日（金）
- ▸ 平成 29 年度事業報告、財務諸表等について決議

② 第 18 回評議員会　令和 2 年 3 月 19 日（水）
- ▸ 令和 2 年度事業計画、収支予算等について
  （定款第 23 条による決議の省略）

(3) その他の会議等

① 支部事務局次長等会議

ア 平成 31 年 4 月 25 日（木）
- ▸ 平成 31 年度事業の推進等について協議、意見交換

イ 令和元年 12 月 13 日（金）
- ▸ 令和 2 年度事業概要等について協議、意見交換

③ 地区賛助会連絡協議会

ア　令和元年 6 月 20 日（木）
- ▸ 令和元年度事業の推進等について協議、意見交換

イ　令和元年 12 月 19 日（木）
- ▸ 令和 2 年度事業概要等について協議、意見交換

④ 情報誌企画・編集委員会

令和 2 年 1 月 7 日（火）
- ▸ 令和 2 年度編集方針・紙面構成等について協議

⑤ 2019 信州ねんりんピック実行委員会

平成 31 年 4 月 16 日（火）
- ▸ 実施要領、準備日程等について協議

(4) 監査

監事監査　令和元年 5 月 13 日（月）
- ▸ 平成 30 年度事業執行状況及び収支決算の状況等について